

2-11 笠井商店会と竜西商店会連盟

発足 昭和 29 年浜松市に合併した郊外の商店会（都田、中ノ町、和田、積志、笠井、芳川、入野で組織された。初代会長は笠井商店会の田口雄太郎。

昭和 38 年第 3 代会長に笠井商店会会長日下部孝造が就任し、日帰り旅行（蒲郡ヘルスセンター）一泊旅行（熱海温泉）を実施した。これ以降、中元大売り出し、歳末大売り出しの目玉の景品となって継続された。

昭和 48 年第 4 代会長に都田商店会会長小出貞雄が就任。新都田の都市計画に参画して浜松市との太いパイプが出来た。

昭和 62 年 浜松ショッピングプラザトーヨーカードが竜西の特別会員となった。それ以来、大型店、中型スーパーが竜西の特別会員となり各地に出店した。竜西は年会費が増えて、招待旅行が充実、バス旅行は日帰り 7 台、一泊 10 台と参加者が増えて会員の商店（洋品店、履物店、酒店（接待飲料）菓子屋（接待袋菓子）お客様とのコミュニケーションが、各店の売り上げを底上げするようになっていった。

平成 7 年 11 月 1 日（りゅうせい・カード）187 店が参加、2%サービス開始した。大型店は、ポイントサービスはしていない。

平成 10 年小出会長逝去された年に（大店立地法）が自由化された。竜西の特別会員は退会していった。第 5 代会長に笠井商店会会長鈴木康平が就任した。海外旅行や九州、北海道旅行を企画した。

平成 15 年第 6 代会長に都田商店会会長山本孝彦が就任した。りゅうせい・カードを中心に共同企画を継続。

平成 17 年 11 月 1 日から（黄色のりゅうせい・カード）1%サービスに変更した。大型店の閉店。開店が相次ぐ、商店は大きな荒波に翻弄されていった。セブンイレブン。ファミリーマート。ローソン。日常品を販売して商店は消えていった。

平成 30 年 最後の旅行は新潟の月岡温泉・泉慶で 166 人が参加した。4 月 13 日 竜西商店会連盟の解散式を行った。

竜西商店会連盟の 60 年間の栄枯盛衰は、冊子にまとめて、浜松中央図書館と浜松商工会議所に寄贈した。

8 - 1 竜西商店会連盟主催の招待旅行の写真

- ※ 一泊旅行 350 名収容の大宴会場があるホテルがある場所が、旅行の行き先となった。三旅行社の見積もりの中から選んだ。歳末大売り出しの特賞として、地元のサービス券を貯めて抽選で招待された。しかし、現金とサービス券でも参加できる。又現金のみで参加も可能と各商店の事情に合わせて参加者は決めていった。
- ※ 1 日常の買い物は、スーパーで、米や酒、履物、洋服、布団などは、商店で買い物して、サービス券（笠井はジョイシール）を、お客様は貯めていた。商店会は業種により、サービスできる歩率がことなりますので自由になっています。積極的に商店会のイベントに参加している店は売り上げが上がります。名前だけでサービス券を、出し惜しみする店は、お客様が良く知っています。
- ※ 商店会の役員として、商店の売る上げがどうすれば、あがるかを考えて企画をしますが、それを利用するかどうかは、店の判断で自由です。このような環境で、商店会は運営されていきます。
- ※ 竜西商店会連盟の旅の楽しみは、各商店代表のかくし芸の発表があります。笠井商店会は松井会長と中谷洋裁店の企画が多いに受けていました。ハワイアンの踊り、ちんどん屋は、絶賛でした。

※ ディズニーランドは、常に満席で最も人気のある企画でした。海外旅行 上海、台湾、九州旅行、北海道旅行

新東名開通記念でのバスの旅 仕事をして、貯金をして バスの旅に参加する 中の良い友との旅

お土産をもてないくらい買っての家路に。 商店主も付き添いで、商売との両立が出来て「良き」時代だったと思います。

8-1 りゅうせい・カード が始まった。 平成7年11月から

昭和25年25周年記念の会員は253店、15年が経過して平成7年40周年記念は199店になっていた。スーパーでも1%のポイントカードを発行して、ポイントから、客の多くの情報を集めるシステムのカードを使用していた。竜西商店会連盟は紙のシールから、端末機を利用するポイントカードに切り替えた。いまだ業者が育っていない時期で、日本カードのカードの購入費用が高く、純利益は少なく、商店会の運営資金が少なくなり活動が減少するようになった。

遠方のお客様はポイントが集まりにくくなり、値引きを希望するようになっていた。そんな事情を聞きながらも、竜西商店会連盟の役員会は各商店会廻り番で毎月開催していった。混合カードの精算、旅行の話、視察の話、講演会の話と商工会議所の所員を交えて意見交換をした。

平成17年、歩率を1%に下げて**黄色カードに変更した**。10年間で経済の動きは大きく変化して、商店が2%のサービスは厳しくなり、全員が出し易い歩率に変えた。そして2倍3倍5倍セールとチラシの表現を変えた。

10年後50周年には136人の会員となった。**25年間で半分に減少した**。専門店の大型店の台頭はスーパーで売っていない商品を買っていた業種に直撃した。消費者の動向は、車社会で、ほしい商品は遠方でも買いに行く世代に変わっていた。

端末機は15年が経過して老朽化が進んでいた。笠井商店会は**平成22年だるま・シールに変更**して、紙のシールを台紙に貼る昔へ戻した。

笠井商店会の会員は 34 店に減っていた。

平成 24 年（2012 年）入野商店会と中野町商店会が退会した。

平成 30 年（2018 年）解散式典を行う。会員は 53 名（館山寺 2 店、和田 3 店、長上 5 店で実質の活動はできない）

8 - 1 笠井商店会とリブロス・笠井 と 達磨市

平成 8 年 7 月 笠井町に「リブロス・笠井」が開店した。遠鉄ストアがメインとなって、エンパン、玉華堂、ジャブクリーニング。

できたて市場（パン）美容院。地元からは、松風屋、こめや、いけとも、田辺カメラ、清水刺繍が出店した。

1 月 10 日の達磨市に第一テレビの生中継があった。もの凄い人出が押し寄せた。テレビの凄さが肌で感じた。笠井の達磨市は駐車場がなくて車で来る人は、適当にどこかへ駐車して参拝にきていたので、達磨市では駐車場の件はどうにもならない状態だった。

平成 8 年笠井商店会長でリブロスに出店した田村滋治さん・いけともさん・寺田こめやさんのお陰で、

平成 9 年の達磨市にリブロスからシャトルバスの運行が決まり、大駐車場を利用してよいとなった。

平成 8 年 11 月 2 日「かささぎ大橋」開通した。慈光会では、匂坂の子育観音の世話人会を訪ねた。昔の話を聞いた。舟で天竜川を渡り笠井の達磨市の帰りに酒饅頭を親が買ってきてくれた美味かった。真東にあるこの観音様は、姉妹観音様と親から聞いている。そんなことで

シャトルバスで送迎して世話人一同を招待した。匂坂の子育観音の祭事には訪ねて写真を撮らせていただいた。この事がヒントで、「観音饅頭」を、みその屋菓子店が達磨市で販売するようになった。

達磨市には毎年シャトルバスをリブロス関連協で資金を出して協力いただいている。それ以来、達磨市は車で来る方も増えて、昔の語り草になっている、（人々で往還は見動くが出来ないほどに達磨市は盛大だった）再現したような境内は人出で満杯が続いている。

不思議なことに、達磨市には、雨に降られたことが無

8-1 笠井商店会 **だるま・シール**（**達磨の町笠井**）を旗印として出発

平成 22 年 5 月 1 日 紙のシールを紙の台紙に貼る 昔ながらのやり方に変更した。その理由は、りゅうせい・カード端末機が 15 年経過して老朽化して新しく購入は出来ない事。りゅうせい・カードのカード代金がいつまでも安くないので商店会の運営費が減少している。会員も少なくなり経費のかからないようにした。

こ平成 20 年 12 月福来寺世話人の交代があり笠井商店会の池田充義が責任総代となり、福来寺の管理維持と達磨市の企画運営を一任された。松井商店会会長と協議して、（**達磨の町笠井**）の旗印の下、だるま・シールと命名した。役員も達磨市には、理解があったのでスムーズに決まった。

金達磨を広く普及させるために、東区役所、県立東高校、笠井中学校、笠井小学校、豊西小学校、リブロス笠井に**大金達磨を贈呈**、静岡銀行、遠州信用金庫、浜松信用金庫、笠井郵便局、JA とびあ笠井店に**中金達磨を贈呈**。笠井商店主には**中金達磨**を買っていただいた。こうして種をまいていった。納めだるまからどの地区から達磨市に来ているかの**データを集計**していった。願い事は何を書いているのだろうか？商売繁昌、健康長寿、家内安全などで、学生の合格祈願は新橋の虚空蔵の達磨市が圧倒的に人気があるようだと解った。現実の達磨市の**実態を知る**ことに務める。役員全員で高崎の達磨屋へ視察に行き金達磨を相談して**新しい金達磨に変えた**。ダイレクトメールで来年の**達磨市の企画を知らせ**往復ハガキで金達磨の注文を受けた。その達磨市の収支結果は達磨市を手伝う全員に**開示して**達磨市の姿を知ってもらった。

このような商店会の様子を浜松市の商工課の水谷さんが声をかけてくれた。笠井の商店会は身の丈にあった活動をしているという評価をいただき、松井会長と呼ばれて、達磨市に写真展を企画したらどうかという提案だった。

8-1 浜松市（商店街活性化事業）について 写真展が始まった

東海町づくり研究所の講演会、富士吉原商店街の視察、横須賀商店街視察を実施。笠井町の魅力発見を写真展で演出する事を提案された。一店一品の提案として、白い達磨に自由作品を描く、健康下着、無添加食品、ふるさと土産品、子供だるま展コンテスト、懐かしい写真展、参加店は十日市の幟と店内のタバストリーで賑やかに演出する。3年間継続事業として認可を受けた。それを実行する事業に対しての補助金を受ける、と言うことで、先ず会員の実行できる事から行った。

だるま入りタオル、開運テッシュペーパー。十湖絵葉書、青厓絵葉書、俳句メモ帳、だるま定期預金、合格木札、だるま買い物袋、弁当ランチボックス、だるまキャラクターの開発、だる弁（七転八起¥780）値段が面白い。観音饅頭7個100円）小さくて時代にマッチしている。

第1回写真展平成23年1月10日開催「いにしへの写真展」畳敷の大広間に展示して、青ビニールを畳の上に敷きベニヤ板を上に乗せて下足で入場した。100名も入場すると、老朽化した床は底が抜けるかと心配になった。と言う。村木千代八君の集めた昔の写真をサイ企画がA3に画像し見やすくして展示した。なつかしい顔、なつかしい風景に見物した人は大変に喜んだ。

第2回写真展 平成24年1月10日開催 先ず会場の床を直す事が第一、高林さんの箆笥などの荷物や台所セット、風呂場、山と積んだ畳は村木千代八君の田圃に捨てさせてくれた。トラック2杯分も捨てて、廻り舞台を近所の方に見学してもらい、厚い板で床を整備した。縁の下は石の上に柱が乗っている状態で不安定なので、柱のまわりをコンクリートで頑丈に基礎を固めて、100人の人が入場しても大丈夫とした。「織物の町笠井」をテーマとして、笠井豊西の昭和の風景を展示した。村木千代八君とサイ企画がすべてを演出してくれた。

※ 「笠井達磨市保存会のホームページ」を開設した。

8-1 笠井商店会 60周年記念事業を実施 平成24年3月10日 晴

肴町商店会と交流した。肴町は江戸時代からの老舗のある町、笠井音頭を募集して、作詞松島伊吉さん。作曲は笠井小学校教員舟橋弘子先生、踊りは地元舞踊家三松広弥さんが振り付けした。三松師匠門下の皆さんが揃いの浴衣で練習から本番まで盛り上げてくれた。

福来寺境内は軽トラ市で地元の農家の出店、鶏卵の出店、肴町からは林靴屋の金山寺、枳形の鰻ピザ、じねんグループ家康おにぎりと豚汁。老舗乾物屋健康味付け海苔などが出品された。地元からは松田屋の香り巻、佃煮、浜名湖海苔、浜名湖海苔入り焼きそば、みそのや、ノーブル島、米はざしが出店。

町歩きマップの作成（静岡文化芸術大学・植野聡子企画制作）

※ 喜多見ゆりオンステージ を開演した。だるま会館では笠井商店会 60年の歩みを写真とチラシで展示した

第3回写真展 平成25年1月10日開催「ふるさと写真展」子供だるま絵を募集して、街路灯のフラッグに描いた。

「未来への贈り物」東区補助事業の認可を受ける。1年をかけて笠井地域の全ての行事を撮影する。プリント7500枚、アルバム60冊にまとめた。第一テレビ生放送あり。境内は大変な混雑となった。テレビ生中継は7年に一度テレビ局より連絡がくる、今までに3回実施した。静岡県下に遠州名物笠井の達磨市が伝わった。県民手帳にも達磨市は載せていただいた。

この 3回の写真展のお陰で、笠井の諸団体との協賛、協力も生まれ、地域の中の笠井商店会となった。

笠井の達磨市と笠井商店は、昔から笠井の観音様を象徴として歩んできた。

第4回写真展 笠井だるま保存会主催 平成26年1月10日(2016年)東高校「七色饅頭」開発。みその屋が協力して販売

第5回写真展 笠井だるま保存会主催 平成27年1月10日 新車庫建設し保存会本部とした。

第6回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 平成28年1月10日 写真展の内容が充実し変わった

第7回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 平成29年1月10日 NHK大河ドラマ直虎特集展示

第8回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 夏の甲子園特集 嘉永7年笠井の地図発見 平成30年

第9回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 市神様 福来寺にて行う 平成31年1月10日

平成31年(2019年)5月1日令和に元号。 6月笠井だるま市保存会会長田村滋治就任

第10回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 笠井小「笠井の詩」合唱 オリンピック特集

9月敬老会景品として「笠井商店会500円商品券」笠井地域連合自治会より以来あり。

第11回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 コロナ中実施 三密対策観音堂大改修。

敬老会商品券は令和3年9月30日で終了。令和3年3月10日十日市チラン終了。

令和3年11月17日 笠井商店会臨時総会にて解散と決定した

第 12 回写真展 笠井だるま保存会主催 笠井協働センター・東高校共催 令和 4 年 1 月 10 日 コロナ中実施 令和の福来寺大改修

8 - 1 笠井商店会と 県立東高校 笠井達磨市

平成 21 年（2009 年）笠井だるま市保存会は、県立東高校へ大金達磨を贈呈した。 田中充笠井地区自治会連合会長と田村滋治東高校理事に同行し、東高校文化祭（高校生の達磨市）を見学する。書道部、写真部、美術部も見学。すばらしい才能に感嘆した

平成 25 年（2013 年）10 月 20 日 「**笠井十日市チャレンジショップ**」産業振興課に採用（笠井タウンマネージャー植野聡子企画）

笠井商店の空き店舗と店先を借りて東高校生が店を開きます。むしゃ武者家康くんパン、ちんげんさいのピザパン 200 個完売、

平成 26 年（2014 年）「商品と流通」の授業で、地域活性化プロジェクトに取り組んでいた商業科 2 年生が、地元みそのや製菓店と連携して

「**七色饅頭を開発した**。容器の値段と材質、饅頭の原材料費など学びながら作り達磨市で販売した。約 200 個は行列が並んで 1 時間で完売した。陳列の仕方、笑顔で声を出す事のはずかしさ完売した時の嬉しさ。すべてが実体験で今後役に立つことでしょう。

国語科は達磨饅頭に寄せる**俳句を募集**して、入賞作品は饅頭の箱の裏に掲載した。**七色饅頭は毎年販売するようになりました**。

福来寺の金達磨を入れる**紙袋のデザイン**は稲瀬美稀さんが描いてくれました。

平成 20 年（2008 年）浜松市は、笠井公民館の名称を「**笠井協働センター**」と改名しました

平成 28 年（2016 年）**協働参画**という趣旨でしたので、だるま会館の展示を、協働センターで学んでいる作品の展示を依頼しました。東高校生の作品、書道部、写真部、美術部の展示を、お願いしてだるま会館の写真展は内容を変えていきました。笠井幼稚園作品、笠井小学校、

笠井中学校作品、郷土の歴史と辨かを学ぶ会の村木千代八さん、サイ企画が構成しています。

8-1 達磨市の話題のイベント 笠井商店会 生中継

和歴	西暦	
平成 8	1996	静岡まるごと 木藤たかお 森きっこアナ 生中継
平成 9	1997	どんどこどん おびや 生中継 だるま弁当 これにより「だる弁 780 円」が生まれた
平成 12	2000	静岡旅まる隊 生中継 静岡テレビ 池田吉仁会長
平成 15	2003	那須陽子アナ 生中継 第一テレビ
平成 25 年	2013	久保ひとみ 生中継 第一テレビ
平成		イブアイ・静岡 小沼みのり 生中継 みそのや (元笠井郵便局、西村時計店、鍋屋) も取材

平成 8 年笠井観音堂の銅板の屋根が吹き替えられた達磨市にテレビ局より生中継をしたいとの連絡あり、電波の試験中継車の置く場所を事前に来て調べた。生中継は笠井町にとって大変珍しかったので、子供たちは森アナについて廻り大変な賑わいだった。

平成 9 年のある日テレビ局の人が、面白い屋号だから取材させて欲しいと突然訪ねてきた。便利な仕出しの店の看板から「だるま弁当」を造る事をどんどこどんに作らせて中継するので、材料を用意してほしいとの事、海老、いくら、海苔、黒豆、など準備した。デレクターが、本当にだるま弁当を作ってみたらと言って帰っていった。容器探しに 1 年、地元の素材を使って作ろうと考えた。値段は七転八起で ¥780 円と最初から決めて作った。

平成 12 年と 15 年はテレビで毎日見ている人気アナが来場、大変な混雑となった。「静岡旅まる隊」は静岡まで行って撮影した。「イブアイ静岡」は人気抜群の小沼アナが笠井の町を訪ねて中継した。こうして笠井達磨市はテレビ局に認知されるようになった。

8-1 出世大名プレミア付浜松市共通商品券

平成 27 年（2015 年）に実施した

浜松市商業協同組合 発行 「500 円」 2 万円購入すると 25,000 円の商品券が貰える

販売日はリブロス笠井の通路は行列が並んだ。万札を 2 枚から 10 枚持って交換している

これだけの人が何万円も手にしているのは壮観だった。」

竜西商店会連盟は「竜西 ¥ 3 0 0 円」券を 1,700 枚発行して加盟店で利用するとお徳になるように 5 1 万円支出した

※ 平成 26 年 4 月 1 日に消費税が 8 % になった。